

船舶インシデント調査報告書

令和3年4月28日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

インシデント種類	運航不能（機関故障）
発生日時	令和2年11月5日 14時00分ごろ
発生場所	宮崎県日南市外浦港東方沖 日向野瀬灯標から真方位093°420m付近 （概位 北緯31°30.4 東経131°24.1 ）
インシデントの概要	プレジャーボートはやしお25は、錨泊中、主機が運転できなくなり、運航不能となった。
インシデント調査の経過	令和2年11月11日、主管調査官（門司事務所）を指名 原因関係者から意見聴取手続実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	プレジャーボート はやしお25、5トン未満（長さ6.74m） 252-18962宮崎、個人所有 ディーゼル機関、船内機、4サイクル、出力33kW、連続最大回転数毎分3,400、使用燃料軽油、4気筒、ボア及び製造年月日不詳
乗組員等に関する情報	船長、一級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北北東、風速 約3m/s、視界 良好 海象：海上 平穏
インシデントの経過	本船は、船長が1人で乗り組み、友人1人を乗せ、錨泊して釣りを行った後、帰港しようと主機を始動しようとしたところ、主機が始動できず、運航不能となった。 本船は、パトロール中の巡視艇にえい航されて帰港した。 本船は、本インシデント後、機関整備業者が点検したところ、主機始動用スイッチが接触不良を起こしていることが判明し、修理された。 本船は、平成5年6月に進水し、平成26年3月ごろ中古で購入された。 船長は、平成31年4月ごろから本船を使用していなかったが、令和2年5月から10月までの間、月1回ほど暖機運転を行い、その際、主機始動用スイッチの鍵の回り方が以前より少し固いと感じていた。 船長は、本インシデント発生日、1年半ぶりに本船を使用して釣りに出かけた。
分析	本船は、平成31年4月ごろから使用されておらず、船長が月1回の暖機運転を始めた令和2年5月から主機始動用スイッチの鍵の回り

	<p>方が以前より固くなっていた状態で運航し、釣りをを行いながら錨泊中、同スイッチが接触不良を生じていたことから、主機の再始動ができなくなり、運航不能となったものと考えられる。</p>
原因	<p>本インシデントは、本船が、平成31年4月ごろから使用されておらず、船長が月1回の暖機運転を始めた令和2年5月から主機始動用スイッチの鍵の回り方が以前より固くなっていた状態で運航し、釣りをを行いながら錨泊中、同スイッチが接触不良を生じていたため、主機の再始動ができなくなったことにより発生したものと考えられる。</p>
再発防止策	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 船長は、長い間運航していない小型船舶を使用する場合、主機始動用スイッチの鍵の回り方が固いなど不具合が判明した際には、速やかに機関整備業者等に点検してもらうこと。